

「湯口の温泉と伝統芸能を楽しむ会」 出演団体について

なまりこだいしんがく

鉛古代神楽

保持・保存団体／鉛神楽保存会 代表責任者／照井 富出男

大正 2 年に円万寺神楽の先代より伝承されて現在に至る。囃子は太鼓、笛、手平証、踊りは 1 番から 4 番まで他に横太刀舞、クグリ舞、逆太刀舞があるが、現在はクグリ舞のみである。舞手は 10 人程度。踊り手は古くは男（少年）のみであったが、現在は少子化で女の子も入っている。

おおさわだいかぐら

大沢太神楽

保持・保存団体／大沢郷土芸能保存会 代表責任者／照井 光徳

これまで活動が途絶えていたが、今年度の「湯口コミュニティ会議地域づくり支援事業」により獅子頭、太鼓、衣装等を整備し、復活活動をしてきた。

えんまんじかぐら

円万寺神楽

保持・保存団体／円万寺神楽 代表責任者／佐藤 俊男

昭和 36 年、市無形文化財に指定。昭和 49 年、県無形文化財に指定。昭和 52 年、文化庁記録保存の指定。平成 17 年、笛、太鼓等神楽の指導的立場にあった会員が病に倒れ、笛の奏者がいなくなったため活動を休止していたが、現在復活し活動を続けている。

かすがりゅうなべくらししおどり

春日流鍋倉鹿踊り

保持・保存団体／春日流鍋倉鹿踊り 代表責任者／藤井 智利

明治 38 年 9 月に花巻市上湯本鹿踊りから指導を受け、鍋倉春日神社例大祭に招かれ奉納し百年以上も途絶えることなく 2003 年に花巻市無形文化財の指定を受け現在 10 名のメンバーで県内外はもとより海外で活動し仲間の友和をモットーにしながら頑張っている。

そんしゃなべくらかすがじんじゃかぐら

村社鍋倉春日神社神楽

保持・保存団体／春日神社別当 代表責任者／高橋 力

初代高橋清次郎を中心に村社に奉納すべく北村の有志と話し合い妻の実家にある円万寺の宮司に相談、協力を得、習いに行った。式豊の奉納の後、昭和 55 年頃まで正月、大祭である秋祭りには各家庭の門掛けを行っていたが、時代の流れから隔年半数の門掛けから総代達の家と減少された。元旦祭、春祈禱、年祝い、火防祭、秋祭り、収穫祭に奉納、現在は神社と別当家のみにも縮小されている。門掛けを望む声も聞かれるが、諸々問題があり、保存の方法ともども悩んでいる現状である。